

# 第一三共ヘルスケア・レディース2010・第33回全国レディース卓球大会

- (1)名称 第一三共ヘルスケア・レディース2010・第33回全国レディース卓球大会  
(2)期 日 平成22年7月30日(金)～8月1日(日)  
(3)会 場 長野市真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング) JR 「長野」駅より バス15分  
〒381-2204 長野県長野市真島町真島2268-1  
TEL: 026-283-7977 FAX: 026-283-7988  
(4)主 催 (財)日本卓球協会  
(5)主 管 長野県卓球連盟、長野市卓球協会  
(6)後 援 長野県、長野県教育委員会、(財)長野県体育協会、長野市、長野市教育委員会、  
(財)長野市体育協会、(財)ながの観光コンベンションビューロー、信濃毎日新聞社、  
SBC信越放送  
(7)協 賛 第一三共ヘルスケア株式会社  
(8)競技種目 ①団体戦(4単1複) ②個人戦ダブルス(合計年齢別)  
(9)試合方法 ①団体戦

(イ) チーム編成

各チーム共、監督1名、コーチ1名、選手6～9名を登録し、競技は6名による1ダブルス4シングルスで行う。なお、選手が監督、コーチを兼ねることは差し支えないが、必ず選手登録をすること。

(ロ) オーダー順序

1	2	3	4	5
60歳以上	50歳以上	ダブルス	40歳以上	30歳以上

- 1) 出場選手は、シングルスとダブルスに重複して出場することはできない。
- 2) 年齢条件を満たす場合、選手は試合毎に出場年代を変更して出場する事が出来る。
- 3) ダブルスには、年齢条件はない。

(ハ) 試合方法

- 1) 原則として3チームによる予選リーグを行い、各ブロックの同一順位同士による決勝トーナメントを行う。
- 2) 予選リーグは、勝敗に関係なく全試合(5番まで)行うものとする。(例: A対Bの試合で3-0の後、Bが2点とった場合3-2と記録される。)なお、その記録結果は、リーグ内で試合得点と同じ場合にすべて比率計算対象となる。
- 3) 決勝トーナメントは3点先取で行う。

(ニ) リーグ戦の順位決定について

- 1) リーグ戦の順位はそのグループ内での勝者を2点、敗者を1点、不戦敗を0点とした試合得点を与えるものとし、試合得点の多い順に順位を決定する。
- 2) 同一グループ内で3チームの試合得点と同じ場合は、行われた全マッチの比率計算(勝÷負)による。
- 3) 2) が同率の場合、行われた全ゲームの比率計算による。
- 4) 全ゲームが同率の場合、行われた全試合のポイントの比率計算によるものとする。

(ホ) 表彰

- 1) 予選リーグ各ブロックの1位チームを表彰する。
- 2) 決勝トーナメント(1位・2位・3位トーナメント)の1～3位(ベスト4)まで表彰する。

②個人戦(ダブルス)

(イ) 試合方法

2名の合計年齢で下記3種目とし、各種目毎に3～4組で予選リーグを行い、各リーグ1位の組より決勝トーナメントを行う。(尚、参加数によってはリーグ1・2位による決勝トーナメントを行う場合がある。)

- a. 合計年齢60～109歳
- b. 合計年齢110～125歳
- c. 合計年齢126歳以上

※年齢は、平成23年4月1日迄に当該年齢に達している者である事。

※合計年齢の多いペアの合計年齢の少ない種目への出場を認め、予選方法については各都道府県に一任する。

(ロ) 表彰

各決勝トーナメント1～3位(ベスト4)を表彰する。

(10)競技日程	7月30日(金) 14:30～	監督会議
	15:30～	開会式
	31日(土) 9:00～	団体予選リーグ、決勝トーナメント(1・2回戦)
		個人予選リーグ、決勝トーナメント(1～3回戦)
	8月1日(日) 9:00～	団体・個人、決勝トーナメント
	1日(日) 13:30～	閉会式(試合進行により前後あり)

- (11)競技ルール
- ①現行の日本卓球ルールによる。
  - ②卓球台はグリーン又はブルーを使用する。
  - ③同色のユニホームによる対戦をさけるため2種類以上の色の違うユニホームを持参すること。
  - ④使用球は、JTTA公認球；40mmオレンジとする。
  - ⑤ゼッケンは本会が交付したものをを使用すること。

- (12)参加資格
- ①団体戦
    - (イ)平成22年度(財)日本卓球協会登録者であること。
    - (ロ)編成チームのメンバーは原則として同一クラブに所属していること。但し、同一クラブで年齢制限等により編成ができない場合に限り、当該加盟団体の承認があれば同一都道府県内において混成クラブでのチーム編成ができる。(隣接都道府県での編成は認めない)
    - (ハ)同一クラブで、A/B/C…などに区分して予選に出場することができる。但し、代表決定後A/B/Cのチーム間で選手交換することはできない。
    - (ニ)参加年齢は30歳以上の女性とする。(監督、コーチはこの限りではない。)
      - 年齢は、平成23年4月1日迄に当該年齢に達している者である事。
      - 30歳以上 昭和56年4月1日以前に生まれた者であること。
      - 40歳以上 昭和46年4月1日以前に生まれた者であること。
      - 50歳以上 昭和36年4月1日以前に生まれた者であること。
      - 60歳以上 昭和26年4月1日以前に生まれた者であること。
    - (ホ)参加チームは各都道府県加盟団体主催の予選会を通過したチームとし、各都道府県(都市)の代表として参加すること。団体戦の予選会の方法は加盟団体に一任する。
    - (ヘ)チーム内に第29回全日本クラブ卓球選手権大会(平成22年度)と本大会に重複出場することはできない。
    - (ト)監督会議での選手変更は2名までとする。但し、予選会で敗れたチームからの交換補充はできない。
    - (チ)前年度ベスト8のチームは、チーム構成に前年度出場選手4名を含めることを条件に推薦出場できる。(表1)
  - ②個人戦
    - (イ)上記団体戦資格に準ずる。但し、同一都道府県内であれば所属の異なる選手同士でペアを組むことは認められる。
    - (ロ)団体戦参加者(登録者)は出場できない。
    - (ハ)第29回全日本クラブ卓球選手権大会と本大会に重複しての出場はできない。
    - (ニ)前年度各種目のベスト4のペア(表1)は該当する合計年齢の種目に無条件出場することができる。

(13)参加数

都道府県名	チーム戦	個人戦 ダブルスA	個人戦 ダブルスB	個人戦 ダブルスC
長野(開催地),東京,愛知,福岡	4	4	4	4
北海道,埼玉,神奈川,静岡,京都	3	3	3	3
群馬,千葉,大阪,兵庫,岡山,広島,山口,長崎,熊本,宮崎,鹿児島	2	2	2	2
その他の県	1	1	1	1

※主管地は、総出場数が参加枠を満たさず運営規模に余力があると判断したときは、独自の判断で参加数を増やすことができる。なお、そのチーム選出については、本会と主管団体で別途協議する。

- (14) 参加料 団体戦 1チーム 20,000円  
個人戦(ダブルス) 1組 4,000円
- (15) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。  
尚、参加料は現金書留郵便または振込にて日本卓球協会宛送金のこと。  
(振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 財団法人日本卓球協会)  
**(個人またはチームからの申込および参加料の送金はしないこと。必ず各都道府県がとりまと  
めて行うものとする。)**  
原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館内 (財)日本卓球協会 宛  
TEL：03-3481-2371、FAX：03-3481-2373  
コピーを 〒381-0038 長野県長野市大字東和田35番地 長野ニッカナビル301  
長野県卓球連盟 宛  
TEL：026-213-6031 FAX：026-213-6032
- (16) 申込締切 平成22年6月14日(月)必着のこと。  
締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず日本卓球協  
会事務局まで連絡のこと。
- (17) 宿泊 後日、旅行代理店より連絡する。
- (18) その他 ①やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、加盟団体を通じて必ず本会及び主管団体宛連絡  
すること。  
②開会式には原則として全員参加すること。  
③監督会議： 日時 7月30日(金)14:30～  
場所 真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング)会議室  
④前夜祭： 日時 7月30日(金)  
会場 長野ホテル犀北館  
〒380-0838 長野県長野市県庁528-1  
TEL：026-235-3333  
⑤本大会及び予選におけるケガ、疾病が発生した場合は、本会規程により「お見舞金」が支給  
されます。  
⑥個人情報の取り扱いに関して  
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に  
利用することはありません。

表1

〔団体の部〕 ◎1位トーナメント	
1位. 狭山フレンズ (埼玉)	5位. 西尾張 (愛知)
2位. ホークス (東京)	5位. KSC (東京)
3位. 大宮スカット (埼玉)	5位. 星野クラブ (大阪)
3位. 浜卓会茶の実 (神奈川)	5位. 高槻クラブ (大阪)
〔ダブルスの部〕 a. 合計年齢60～109歳	
1位. (井ノ口博子(花野井クラブ・千葉) 下山田寿子(花野井クラブ・千葉))	3位. (笹川伊都子(長吉卓球センター・大阪) 山村 泰子(長吉卓球センター・大阪))
2位. (金子 明子(印刷局虎の門・東京) 森野 裕希(印刷局虎の門・東京))	3位. (堀口 歩子(花野井クラブ・千葉) 宍戸 裕子(花野井クラブ・千葉))
〔ダブルスの部〕 b. 合計年齢110～125歳	
1位. (持田 恵子(サクセス・愛知) 船ヶ山昌子(サクセス・愛知))	3位. (小川カスミ(AFクラブ・愛知) 相馬 伸子(AFクラブ・愛知))
2位. (長田 千鶴(小町クラブ・広島) 木村 栄(小町クラブ・広島))	3位. (松野美智子(竹の子・大阪) 有田 廣美(枚方クラブ・大阪))
〔ダブルスの部〕 c. 合計年齢126歳以上	
1位. (前田 澄子(伊卓連・兵庫) 仁井田さよ子(伊卓連・兵庫))	3位. (延原美保子(ツイズ・愛知) 福井 米子(ツイズ・愛知))
2位. (古市 澄子(吹田レディース・大阪) 嘉藤 文代(吹田レディース・大阪))	3位. (鈴木 ノブ(楽和クラブ・東京) 橋本 洋子(楽和クラブ・東京))